昭和48年10月5日
広報あじす版 毎月5日 発行
お知らせ版 毎月20日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話1番・〒754—12

印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

No.263

町の住民登録人口
(48年9月30日現在) 前月比
世帯 2,651世帯 ＋4
人口 8.154人 ＋23
(男3.839人 女4.315人)
(国勢調査昭和45年10月1日)
世帯 2.008世帯
人口 8.035人
男3.730人 女4.305人

交通安全を考える
わたしがヒヤッとしたとき

追越しの車にヒヤッ！
「子どもの飛び出し」も多い

"ヒヤッ"としたあの瞬間を忘れまい！—これは交通安全標語ですが、自動車に乗る人、歩く人ともにそうした経験はあるのではないでしょうか、それを教訓に交通事故を起さないよう、あわいようにすることが身の安全を守ることの一つにもなるのです。そこで、交通安全協会の地区の世話人のうち十人に交通安全の心得などをアンケートしてみました。

質問 数字は運転歴
①自動車を運転中にヒヤッとしたこと
②日ごろ心掛けていること

沖ノ原 網田次男 12年
①対向車が目前で子どもをはねたのを見たとき。五歳ぐらい子どもがふっ飛んでたたきつけられたので自分がはねたのかと思ってドキッとした。
②睡眠不足などで頭がさえないときは乗らないようにしている。

砂二 池村勉治 14年
①対向車がSカーブで中央線をはみ出し猛スピードで接近して来たとき。
②私の場合、バイクの免許だけですが、三千キロの制限速度内でそれもできるだけスピードを出さないようにしている。それとついでに注文ですが、夜間、乗用車と対向する場合、私たちバイクや自転車に対してもライトをスモールにしていただきたい。
もう一つ、駅前の交差点でよく老人が信号機を無視して横断されますが、気がついた人は注意してあげましょう。

細北 岡田歳一 16年
①横道から老人がとび出したので急ブレーキをふんで事なきを得たとき。
②毎日仕事に出かける時、帰る時に。

西条のお地蔵様に交通祈願をしている。

前山 河村秀政 15年
①坂道で車がつかえていたので停車していたら後方から荷物を積んだ三輪車が猛スピードで接近して来た。追突されるかなと思った瞬間、その三輪車は急ブレーキをかけ、ハンドルを切りすぎて横転。このため追突を免がれた。
②車に強い方ではないから、できるだけ乗らないようにしている。

南祝 酒井好孝 11年
①停っているバスを越そうとした際、バスの前から急に人がとび出した時。急ブレーキで事故は免れたが…。
②夜間はできるだけ追越しをしない。方向指示機はできるだけ早く出すようにしている。

小南 武安 勝 12年
①横道から急に子どもが出てきたとき。
②横断歩道付近では必ずスピードを落す。いつでも停車できるように。

岩前 中本隆助 22年
①なし
②町内では乗るが、町外へ出るような時は乗らない。しかも町内でも交通量の多いところは避けるようにしている。

旦西 網田信雄 10年
①バックミラーで後方を十分確認しないで追越をかけたところ、後方からやはり追越をかけようとした乗用車がいたため危く追突されそうになった。
②目的地に着くまでの時間に余裕をもって出発する。

野口 古川長雄 26年
①グループで歩いている子どもを追越そうとしたら、急に子どもが中央の方に寄って来た時。
②過労運転をさける。いくら忙がしくてもあせらないように。

中村 村田浩三 20年
①夜道を自動車で走っているとき、黒い服を着た人が、目前にいたとき。急ブレーキで危く事故から免がれた。
②遠方をする時は、車を点検してから乗る。道路状況に合った速度で走る。

（とじておくと便利です）

『急いでいた』が一ばん
ユックリズムで事故防止を

九月は町内でも大きな交通事故が二件ありました。その一つは岩倉のおばあさんが死亡、もう一つはマイカーで出勤途上の人同士が衝突、一人は肝臓破裂の重傷を負うなど痛ましい事故でした。このように交通事故は町内で毎月八件平均ぐらいで起きています。ことし一月から九月末までの発生事故件数七十二件（昨年同期七十八件）で、その内訳は人身・物損とも三十六件です。人身事故では死亡が三人、重傷四人、軽傷三十八人となっています。

ところで、こうした事故を起したもの、つまり加害者に共通しているものがあるとすればどんなことか、小郡警察署阿知須警官派出所の清水哲巳主任に聞いてみますと「一ばん多いのが『急いでいた』ということです。実際どんな用事か尋ねてみると本当は急ぐ必要は全然なかったというものが多いのです。ついで『見えなかった』というもの。これも本当は見えないのではなく見ていなかったというのが正しいようです」とのこと。

せまい日本そんなに急いでどこへ行く…これを肝に銘じて運転することで、ユックリズムが運転者の交通事故を防ぐ第一のカギのようです。

運転管理者らが交通標識を掃除

道路の標識や反射鏡がよく見えるようにして交通事故を防ごう…と、自動車をたくさんもつ事業所の運転管理者らがこのほど清掃奉仕をしました。

運転管理者は二輪車を十台以上または軽四輪車以上の車を五台以上かかえている事業所に必ず置くように義務づけられており、交通事故を起さないように管理、指導監督することになっています。

このたびの清掃奉仕は国道、県道、町道などにとりつけられた標識やカーブミラーなど雑在できれいに拭ってまわりました。

このたび奉仕した事業所は次のとおりです。

阿知須建設、若山合板、カントリークラブ、農協、役場（写真は標識をきれいにする運転管理者）野村養鶏、野村電機商会、林クリーニング、吉南土木、玉川書設

地区をあげてクリーン作戦
清掃や消毒 薬剤は町が無償で

秋は湿度が低く、清掃するのも容易で、しかもきれいになりやすいときです。町で環境衛生組合長あて に地区内の清掃運動を展開していただくようにお願いしています。みなさんのご家庭でもクリーン作戦を展開されますようご協力をお願いします。

地域ぐるみで清掃される場合は町が薬剤を無料で差上げます。厚生課へお申出ください。

▽掃除の徹底＝家やその周辺を掃除するほか、道路や大家の集るところをきれいにしましょう。

▽ねずみの駆除＝ねずみは秋から冬にかけて駆除するのが効果があります。下水溝や残飯類のあるところなど、ねずみの出入する場所を徹底的に消毒しましょう。

このほか、大勢の人が集る場所や通るところ、あるいは川や海にはごみを捨てないようにつとめましょう。

大がかりな買占めや開発はご連絡を
土地の正しい利用に

各地で土地の買占めや、乱開発がとりざたされていますが、本町でこうした動きがあるときはすぐ役場の方にご連絡ねがいます。

町の開発計画、その他との関連がありますし、民間企業であるなら話しぶりで地主に買入れ交渉する恐れもあります。

こうしたことから県は土地開発要綱をつくり、開発事業者に届出るようにさせるとともに、開発に当っては後日、問題が起きないように協定を結ぶように示していますから、道路、水路、公共用地の取扱いなどは県知事の許可がいります。もし、みなさんの農地を、その他の目的で使われるときは町農業委員会を通じて必ず許可（農地転用許可）を得てからにしてください。

また、農地転用の計画のある場合は早目に産業課にお申出ねがいます。家を建てられる場合、設計図はできた、施工業者もきまったさて転用申請をしようといって申出られても、許可がおりないことも予想されます。

したがって、具体的な計画をたてられる前にあらかじめご協議の上、ご相談されることをおすすめします。

農地の転用は早目に協議を

田や畑を農地以外に使うときは県知事の許可がいります。もし、みなさんの農地を、その他の目的で使われるときは町農業委員会を通じて必ず許可（農地転用許可）を得てからにしてください。

また、農地転用の計画のある場合は早目に産業課にお申出ねがいます。家を建てられる場合、設計図はできた、施工業者もきまったさて転用申請をしようといって申出られても、許可がおりないことも予想されます。

したがって、具体的な計画をたてられる前にあらかじめご協議の上、ご相談されることをおすすめします。

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕
◇香典返し▽一万円＝徳永仁さん（岩西前）は母ヶ谷子さんの▽三万円＝浜中一豊さん（小南）は父利一さんの▽二万円＝大沢晴昌さん（東）は母孝子さんの、磯崎孝夫さん（西条）は父孝一さんの香典返しとして寄付。

▽辻田勇さん（三重県松坂市京町区二十八の二かがす荘二号）は二千円。浜中由之進さん（長崎県松浦市志佐町里免）は一千円を広報郵送料として町へ。

お知らせ
秋の妊婦学級
十一月の金曜日に

町では妊婦や、新婚の方、結婚前の娘さんを対象に、妊婦としての正しい知識をもち、心豊かな母親として健康な子を育てていただくため、年二回「妊婦学級」を開いていますが、今年二回目の学級を十一月の第二金曜日（九日）から十一月中の毎週金曜日（ただし二十三日は祭日のため二十二日に繰上げ）午前十時から正午まで役場で開きます。受講希望者は、十月二十七日までに地区の母子推進員か、役場住民課へお申込みください。

講座は次のとおり
講義＝妊婦の生理衛生、妊婦の心得、お産の準備と経過
映画＝生まれる、妊婦体操（実技）産後の家族計画
実習＝妊婦の栄養
身体の洗い方

ソフトボール大会

ソフトボール同好会では、二十一日阿中グランドで、町長杯ソフトボール大会を開きます。参加を希望されるチームは十六日までに町教育委員会へお申込みください。なお現在十六チームが登録しています。

補聴器を無料で検査

県社会福祉事務所では、補聴器の定期検査を毎年第二木曜日午後三時から三時半まで、町役場厚生課で行います。補聴器ご使用の方は、ご利用ください。無料です。

危険物の取扱者試験

危険物取扱者試験が十一月十五日、宇部、山口など県下十四カ所で行われます。

種類は乙種と丙種の二つ。受験希望者は町交通防災課にご連絡ください。願書をとりまとめて県消防防災課に提出します。県の締切りは十月二十五日です。

青少年の作文募集

青少年育成国民会議では、青少年が自己の成長についてのべるとともに広く社会に目を向け明るい地域づくりに参加することを望み、青少年の作文、論文を募集しています。

主題
▽論文の部＝今、青年にできることは？
▽作文の部＝遊びと勉強・「立志」を考える（十四歳になって）
▽応募資格＝作文の部—十六歳未満の者・論文の部—十六歳以上二十六歳未満の者
▽応募方法＝応募は一名一点。作品は作文の部は四百字詰原稿用紙五枚以内、論文の部は十枚以内。住所・氏名（ふりがな）・性別・年齢・職業・電話番号と写真の題名・データおよび二百字以内の写真説明を書いた応募票（B5版以内のものなら大きさ自由）を必ず写真の裏面にはりつけること。組写真は、一枚ごとのデータを忘れずに、また写真の番号と位置、それに説明文を書いたレイアウト用紙（B5か実物大）を必ず添えること。

締切りは来年一月二十日。送り先は山口市滝町一の一山口県庁広報課内山口県広報写真コンクール事務係。

希望者は申込みを
来年の県民手帳

県統計協会では、毎年山口県民手帳を刊行していますが、今年も山口県民手帳八九七四円年版を刊行することになり、申込みを受付けています。

県民手帳は、日記欄・統計資料編、各簿編・便覧編と豊富な内容で、持ち歩ける情報源として、執務や学習に役立っています。

申込みは各部落の区長さんに取まとめていただいていますのでお早目にどうぞ。一冊百五十円。

「山口県の旅」案内書も

県観光連盟では「山口県の旅・ガイドブック」の申込みを受付けています。

ガイドブックは県内の観光施設や観光行事などわかりやすく書いてあります。

申込みは役場産業課へ。一冊三百五十円です。

10月の行事予定

7日 阿小・井小運動会
8日 町議会（9時）
9日 乳児検診（後1時～3時）
10日 第22回町内球技・婦人バレーボール大会（前8時・阿中グランド）
11日 幼児学級（後1時半）
12日 婦人がん検診
13日 結核精密検診（前9時～11時）
献血（前9時～正午）
16日 あじのす大学「社会見学のため山口市へ」（前8時50分集合）
17日 貯蓄の日
19日 豚コレラ予防接種
26日 幼児学級（後1時半）
31日 三種配合予防接種（後1時半～2時半）〔時間の入った催しは役場〕

共同募金 本町はことし31万円を目標にしています。ご協力ねがいます。

録音盤 15

趣味のハク製

工藤　敦（寺河内）

○私の趣味の話ですか？最初から剝製（はくせい）をはじめたわけではありません。二十一歳かす。ここにあるのは鯉です。鳥の腹には綿、魚には石膏をつめます。

○一つずつ仕上げるのは楽しみですが、これまで一ぱいうれしたのですが、結婚して家内が妊娠して特別に農林大臣の許可を受けています。だから、人が扱えない鳥も時には扱います。学校では生徒にクラブ活動で指導しています。

○最近では魚の剝製もはじめました。傷るところは全部とりだして、皮とウロコだけにするのです。

○最近はテレビを見すぎて仮性近視になったり、小学生で眼鏡をかけるのがふえていると言われています。目を守るためには、本を読むときなど正しい姿勢で、適当な間隔をおいて読むようにすることが大切です。

ところで本町の小中学生の視力はどんな傾向にあるのでしょうか三校の記録をたどってみましょう。

昭和四十年以降の状況をみると生徒総数に対する近視（視力〇・九以下）の生徒の割合は同知須小が漸増、井関小は逆に減っている。阿知須中は横這いの傾向にあるといえるようです。

つまり、阿知須小は四十年に全体の五・八％だったのが、ことしは一七・一％となり、この八年間は約六人に一人は近視だということになります。

井関小は一〇・九％からことしは四・九％になり、これまでの最

中学生は五人に一人 近視

十月十日は「目の愛護デー」

十月十日は国民の視日・体育の日・ですが、「一〇」を眉毛と目になぞらえて、「目の愛護デー」ともされています。

最近ではテレビを見すぎて仮性近視になったり、小学生で眼鏡をかけるのがふえていると言われています。目を守るためには、本を読むときなど正しい姿勢で、適当な間隔をおいて読むようにすることが大切です。

ところで本町の小中学生の視力はどんな傾向にあるのでしょうか三校の記録をたどってみましょう

昭和四十年以降の状況をみると生徒総数に対する近視（視力〇・九以下）の生徒の割合は同知須小が漸増、井関小は逆に減っている。阿知須中は横這いの傾向にあるといえるようです。

つまり、阿知須小は四十年に全体の五・八％だったのが、ことしは一七・一％となり、この八年間は約六人に一人は近視だということになります。

井関小は一〇・九％からことしは四・九％になり、これまでの最低記録です。

阿知須中は四十年が一七・九％だったのがことしは一九・四％。これでみる限りはふえているが、四十五年に二五・九％だったこともあり、この間、二〇％台を続けていたことなどを考え合わせてみますと横這い、または、やや減る傾向に向っているといえるようです。しかし、約五人に一人が近視というのは小学生よりはるかに比率が高いわけで、視力の保護が望まれるところです。

年	阿小	井小	阿中
40	5.8%	10.9%	17.9%
41	7.0	6.2	20.0
42	13.6	5.6	22'9
43	8.8	5.2	22.8
44	11.1	6.5	22.9
45	12.6	6.5	25.6
46	16.1	7.0	21.5
47	13.9	6.5	23.0
48	17.1	4.9	19'4

学校別の近視の比率は次のとおり

豊かで住みよい社会をつくる

郵便貯金奨励月間

郵政省は十月を郵便貯金奨励月間として郵便貯金の普及につとめています。

このため、阿知須郵便局でも、

・豊かなくらしと住みよい社会をつくる郵便貯金・をキャッチ・フレーズにして、その利用を呼びかけています。

わが国の郵便貯金は総額十三兆円を越えており、このお金は、住宅建設、生活環境施設、交通、農林漁業、文教施設の整備など国や地方財政の一部に使われています

本町でも現在、郵政省から約九千四百万円の長期融資（二十年～二十五年）を受けており、都市計画道路や学校プール、移動建築などに当てられました。

郵便貯金の利率は次のとおりです。（十月一日現在）

通常貯金	年	三・六〇％
積立〃		四・〇八
定期〃	三年	五・七六
	五年	六・二四
定額〃一年六月～二年未満		五・七五
二年～三年未満		六・二五
三年以上		六・五〇

秋です、本を読みましょう

＝新刊書が入りました＝

読書、勉学にも絶好の季節の訪れです。町教育委員会事務局内にある図書室にも新刊書がたくさん入りました。希望者はどうぞご利用ください。

貸出期間は一冊が一週間以内です。貸出しを希望される場合は教育委員会へお申出ください。

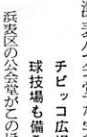
子どもの性格は親がつくる、人物日本の歴史、愛の哲学、きらわれる親子かれる親、人生を生かす恋愛、物価をこうみる、恋愛論、結婚相性学、立ちつくす思想、言論の自由ということと、人間いかに生くべきか、新しい中国、ドキュメント日中復交、マッチ棒クイズことばの豆辞典、日本人とは何か水俣病、忘れられぬ名言、おんな性、日教組を斬る、子どもを幸せにする本、おやじたちに聞け育委員会へお申出ください。

精神公害、女の長風呂、女房訓、人間心理学、人間と人間との探究、天下統一、男の世界と女の世界、見学の子宝です。

町内あれこれ

砂村さんが参加

県海外派遣青年団員



山口県は青年の国際的な意識を高めるために、昨年から県下の青年を東南アジアに派遣しています が、ことしの海外派遣団員十五人のうちの一人として砂村七美子さん（二三）＝写真・飛石・宇部カントリークラブ勤務＝が参加することになりました。

日程は十一月の中旬から下旬にかけて二週間。訪問国はタイ、シンガポール、マレーシャ、香港の四つ。訪問先では現地の青年と交歓したり、工場、学校、ゴム園など視察します。

町内会ごとに球技大会

町内会のスポーツ行事が盛んになり、親ぼくと体力づくりに効果をあげています。

種目は男子がソフトボール、女子がバレーボール。九月に実施したのは神ノ原と飛石、西条、砂郷岩倉など。岩倉は五地区から約五百人が参加、子どもソフトボールも加えて中学校運動場で賑やかなかとなりました。

チビッコ広場や球技場も備える

浜表公会堂が完成

浜表区の公会堂がこのほど完成九月九日に完工式を行いました。

敷地面積千三百九十二平方メートル当り地代を四キロ、油粕四百グラムを施しておいた土を作っておき、株間十五から二十センチぐらいの間隔に植えゴみ覆土は少々厚めに、十センチぐらいを目安にします。

球技場が使されていると品種特有の花色が現われず生育も衰えて貧弱になります。

定植の方法は、三、三平方メートル当り地代を四キロ、油粕四百グラムを施しておいた土を作っておき、株間十五から二十センチぐらいの間隔に植えゴみ覆土は少々厚めに、十センチぐらいを目安にします。

ここは、以前は小高い山で、蕪地がありましたが、岡山に移転したあとを削って平地にしたところです。建物にはステージもついており、外の広場はバレーボールコートやぶらんこ、すべり台などチビッコ広場としての施設を備えています。

こうした公会堂は引野区でも計画しており、現在、敷地作業を進めています。

オキナワの少年、沖縄むかしあったこと、涙花恭談、本当のような話、名勝負物語、魚たちと眠れ、結婚ってなあに、へんな学校、旅に求めた青春、おとなになって、悔なき命を、こつたがえしの時点、クラクラ日記、ザ・おんな刑事、旅の重さ、日日日日、寝る、欲望の海、海を眺める女、ザコ寝の人ある、愛の終り、貧しき人々のむれ、厳様浪人、酒蔵た関係、お先に失礼、三角の山、落語＝長屋の飼育犬は必ずつないでおいていただきますように。いらない犬は役場の方へお連れください。二百円から三百円のお礼を差上げます。

◆・全国青年大会は十一月に東京で開かれますが、陸上競技一万メートルに町交通防災対策室の吉野寿代博（二三）が県代表として出場します。去年は千五百メートルに出場し、八位でしたが、ことしは長距離に挑戦、上位進出をねらっています。

役場の窓

◆・九月下旬の「環境衛生週間」に合わせてクリーン作戦をはじめました。きれいな町、害虫のいない町を

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
竹森誉一	長男	靖之	8・28	前山
戎谷　勲	長女	和恵	8・28	岡
三須田薫	栄子（黒田）			岩西
小川美知男	美恵子（上野）			岩辻
井本邦昭	はつみ（岡本）			山口市鋳銭司
宮原恭造	澄枝（辻下）			宇部市天神二丁目
中野博美	長男	錠二	9・23	砂三
中野　進	一男	慎治	9・16	小西
森重　悟	一男	修	9・16	杖川
藤重右一	二女	久子	8・27	月北
桜井茂男	長女	真理子	8・31	前山
背戸山喜三	長女	真理	9・1	目北
竹尾一美	長男	一寿	9・4	砂一
吉谷守正	長女	陽子	9・2	引野
上野　満	長男	克弥	9・9	岩前
久都内博嗣	長男	清忠	9・11	杖川
徳本俊和	長女	恵	9・14	小南
深野　俊幸	錠二	9・23	砂三	
上野　利夫	慎治	9・24	62	岩上
森重　悟	一男	修	9・25	62	西条

婚姻（おしあわせに）

藤村正樹	恵子（上野）	岩辻	
井本邦昭	はつみ（岡本）	岩前	
山口市大字吉敷	美町大字赤		
宇部市大字藤曲	栄子（黒田）	岩西	
小川美知男	美恵子（須村）	南祝	
三須田薫	栄子（黒田）	岩西	
竹森誉一	長男	靖之	8・28
戎谷　勲	長女	和恵	8・28

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年齢	部落
上野　満	9・11	74	目北
林間　優治	9・14	65	縄北
中川　蒔子	9・17	86	岩上
上野　ハナ	9・23	22	小西
上野　利夫	9・24	62	岩上
縄崎　孝一	9・25	62	西条

町民文芸

第53回阿知須短歌会詠草

浜　石田サダ子

新しきペン先取り替え清書する赤字に絞りし去年の決算書

岩上　上重　朝子

山越えてふたたび来たる船木温泉館新し掘り飯甘し

寺河内　兼重　きぬ

巨大なる花うだれし向日葵は秋立つひと日雨にぬれをり

浜　正司ワメノ

種を蒔く吾が手に休む赤蜻蛉翅かがやくをしばし見つめる

飛石　砂村ヤス子

さりげなくビールつぎしもお別れの言葉なくして目で云えよ

縄南　中野　桂子

宵風はさかむりるし名月の夜更けて見れば高く冴えをり

岩西　中本　幸枝

水なくて夜露少なき水田に持ち来し追肥ためらひつつ撒く

岩西　中本　満枝

夏休み終らんとする朝の田に早稲の穂見つつ母と語刈る

砂二　橋本　寂子

雷がこわいと膝に来し吾子のあらき呼吸が吾に伝はる

西条　原田　双恵

雷雨過ぎ丸なはる山沖雲低く烟のごとく立ち籠むる見ゆ

砂三　藤巻ミツノ

北海道の友より送り来しスランを病める子受けとり感涙にむせぶ

北祝　部坂　秩子

換気音かすかに響く地下室にがきコーヒー噛むごとく飲む

砂一　松代　二郎

干拓の神に間をおき灯台の光の見ゆる窓閉めて寝る

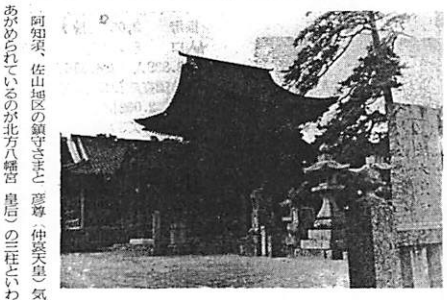
砂二　渡辺　宮子

東風つよく吹き初めし午後軒の端の果をめくりつつ蜂の飛び交ふ

次回は十月二十日（土）午後七時から兼重さんお宅で。詠草締切り十七日。

あじす ① 再発見

北方八幡宮



（写真は北方八幡宮）

阿知須、佐山地区の鎮守さまと祭神は誉田別尊（応神天皇）足仲あがめられているのが北方八幡宮　彦尊（仲哀天皇）気長足姫（神功皇后）の三柱といわれています。もともと宇佐八幡宮（大分県）

境内の裏側には六十六年前に懸

境内の裏側には六十六年前に懸

仮設舞台で陸上自衛隊音楽隊の演奏、下関からす劇団の芝居などでした。

神官は藤井武子さん

ことしの余興は小学生の相撲や少年が大行司、小行司となって馬

南に寄っている、社殿が狭い、修理するにも不便だというような理由で約七百四十年前に南方（西岐波）と分離、佐山字長山に移して北方八幡宮とし、二十三年後の二五九年に現在の地、須田河内に神殿を造営して祀ったとされています。その後、社殿が火災（一四〇八年）にあったり、改造したりして、現在の神殿は一六八〇年、楼門が一六九九年に造られたものです。

阿知須地区の人々は、あまりにも

由で約七百四十年前に南方（西岐波）と分離、佐山字長山に移して北方八幡宮とし、二十三年後の二五九年に現在の地、須田河内に神殿を造営して祀ったとされています。その後、社殿が火災（一四〇八年）にあったり、改造したりして、現在の神殿は一六八〇年、楼門が一六九九年に造られたものです。

境内の裏側には六十六年前に懸

たばこは町内で

秋と花類

私たちの周囲に緑や花をやましょう。十月は季節の変り目とあって観葉植物など保護が必要になります。

◎観葉植物に保温を

夏のあいだ涼を与えてくれた観葉植物や鉢物類は十月に入ると、ぼつぼつ保温の準備にかかります。サンスベリア、チンチャヤシ、洋ラン類は上旬に、フエニックス、ゴム、シュロチクはおそくとも下旬には、入室します。

無加温のビニールハウスに入れた場合は、灌水をできるだけひかえ、乾燥がひどい場合にだけ午前中に灌水を行います。

◎球根類の植付け

チューリップ、ヒヤシンス、クロッカスなど春咲きのものは、十月中に植付けます。

秋植球根類は、よい球根さえ植付ければ間違いなく咲きますが特にチューリップはウイルスに侵されてない球根を選びましょう。